

校友会 史跡クラブ 行程表

日程 3月21日(木) 《小雨天決行》
活動場所 岩槻人形博物館 ～ 岩槻城址他
集合時間:場所 9時00分(時間厳守):東武野田線大宮駅改札前
行程概要(午前) 大宮9:12 ～ 岩槻9:23
東武野田線(アーバンパークライン)
「岩槻人形博物館」(入館見学 約1.5時間) ～
「時の鐘」見学 ～ 岩槻城址公園
(昼食) 市民会館いわつき内「レストラン大手門」(予約なし)
(午後) 岩槻城址公園散策 ～ 久伊豆神社 ～ 芳林寺 ～ 遷喬館
岩槻 ～ 大宮(東武野田線) 16:00大宮駅で解散

● 岩槻と人形

江戸時代後期、庶民の間でも「雛祭り」が行事として広まり、日本橋十軒店等に雛市や兜市が立つようになり、江戸で人形文化が花開きます。人形の供給地として、鴻巣や越谷等の武州の村々で人形作りが始まる。城下町で日光御成街道の宿場町として発展した岩槻にも「雛屋」を名乗る家があったらしいが、岩槻で人形作りが盛んになるのは大正時代以降のことで、関東大震災や戦争で被災した東京の職人達の流入等により生産量が拡大し、高度経済成長期には一大制作拠点として人形産業を支えた。大手の人形店による独自の人形館は以前からあったが、人形文化を発信し、「人形のまち」岩槻の魅力を伝える施設として、2020年2月に『岩槻人形博物館』が開館しました。

○ 時の鐘

寛文11年(1671)岩槻藩主阿部正春が渋谷口に設置させたもの。鐘は享保5年(1720)に改鋳され、鐘楼は嘉永6年(1853)に建替えたもの。
市指定の有形文化財に指定され、毎日朝夕6時と正午の3回鐘撞きを行っている。

○ 岩槻城

室町時代の末期、太田道心・道灌父子が主君上杉持朝の命を受け、川越城・江戸城と同時期に築城したとされている(最近では成田氏説が浮上している)。乱世の関東で目覚ましい活躍をした道灌は、勢力拡大を恐れた関東管領上杉定正に、相模の伊勢原(糟屋)で暗殺された。その後岩槻城は道灌の末裔が治めたが、戦国期に入り台頭した北条氏に制圧され、江戸時代は徳川親藩の大名支配となった。明治に入り岩槻県となり、城は県庁舎として使用された。

○ 久伊豆神社

創建約1,500年前と古く、欽明天皇の時代に出雲族の土師氏が東国へ移住するにあたり、大己貴命(大国主)の霊を勧請したのが始まりとされ、岩槻城築城の際に太田道灌が城の鎮守とした。また久伊豆神社は元荒川流域に分布していて、平安時代末期の武士団、武蔵七党の野与党・私市党の信仰が厚く、その勢力範囲とほぼ一致している。近年、久伊豆がクイズと読めるため「クイズ神社」といわれ勝負運に強いため、受験生等にもてはやされている。

○ 芳林寺(曹洞宗の寺院で大平山と号す)

太田道灌が暗殺された時、遺骨・遺髪を越生の龍穩寺と比企郡松山の地蔵寺に納められたという。永正17年(1520)地蔵寺が火災に遭い、岩槻城主太田資高が当地に移転し、永禄10年(1567)寺号を改めた。

○ 遷喬館

寛政11年(1799)に岩槻藩士だった児玉南柯が創設した私塾。後に藩校となり藩士の子弟が儒学を中心に学んだ。県内に現存する唯一の藩校跡。

持ち物等 歩き易い靴・健康保険証・雨具・飲料・スイカ/パスモ